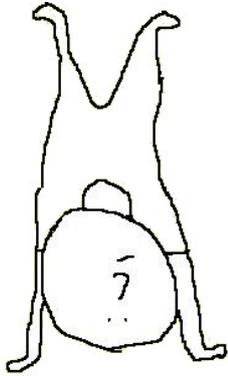


<全国シンポジウム>

大韓帝国強制併合100年

松山から「坂の上の雲」を問う



昨年、NHKドラマ『坂の上の雲』の第1部が放送され、今年と来年には第2部・第3部が放送されます。大々的な宣伝をはじめ、非常にセンセーショナルな放送のしかたに、違和感や不安や、危惧を抱いている方もおられるかと思えます。

また、原作である司馬遼太郎の『坂の上の雲』についても、その歴史認識や朝鮮・中国・ロシアの描き方について、疑問の声があります。

〈シンポジウム〉では、これら「坂の上の雲」の抱える問題に対して、多角的に光をあてていきたいと考えています。

2010年11月13日(土)13:30~16:30

愛媛大学 城北地区 <グリーンホール> 松山市文京町3番

入場無料 資料代(一般) ¥1000円

■ 学生代表挨拶・・・「韓国併合」100年に思うこと

■ シンポジウム

安川 寿之輔 さん・・・『明るくない明治こそが「暗い昭和」につながった
—「坂の上の雲」と福沢諭吉—』

醍醐 聡 さん・・・『日本は朝鮮の独立のために日清戦争を戦ったのか
—伊藤博文はよりましな帝国主義者だったか—』

井口 和起 さん・・・『日露戦争は祖国防衛戦争だったか
—歴史研究者の立場から—』

高井 弘之 さん・・・『司馬は明治日本像をどうやってつくったか
—その「からくり」—』

■ 報告・・・松山市・『坂の上の雲』のまちづくり (武井 多佳子 さん)

13日(土)夜 全国交流会

14日(日)午前 全国相談会

午後 フィールドワーク「坂の上の雲ミュージアム」の見学など

<全国シンポジウム> 松山から「坂の上の雲」を問う 実行委員会

学生代表/法文学部三回生・的場竜一 共同代表/西原一宇

お問合せ/090-9736-6368(愛大生・的場) 090-2781-7055(一般・山中)

Eメール/sakakumo_wotou@yahoo.co.jp

